

# 垂水市新庁舎建設基本計画 住民説明会



## 基本計画の内容

- ①検討経緯と基本計画の位置づけ
- ②新庁舎建設の必要性
- ③新庁舎建設の基本方針
- ④新庁舎の規模設定
- ⑤庁舎の位置
- ⑥庁舎の機能
- ⑦敷地利用計画
- ⑧新庁舎の空間構成
- ⑨実現化方策の検討

## ◎説明会ご意見全 41 件をテーマごとに分類

テーマ	件数	主な内容
機能	10	設計に対する要望等
安全性	6	地質（液状化等）、津波（想定、対策等）
規模設定	6	規模設定の考え方、フロア活用策
事業費	5	建設単価、財政
位置	4	予定地の課題
その他	10	市政策、計画の賛否、基本計画全般

5月14日（月）～29日（火）の間、市内各地区公民館の6会場において、基本計画決定に伴い、市民の皆様と新庁舎に関する共通認識を図るため、住民説明会を開催いたしました。説明会には262人の市民の方々が参加し、庁舎建設の「安全性」、「事業費」、「規模設定」、「庁舎機能」について、さまざまな質問、意見、要望をいただきました。

## 新庁舎建設の経緯

新庁舎建設は、平成23年3月の東日本大震災後に公共施設耐震化対策の一つとして検討されてきました。学校施設を優先して改修が行われ、市役所庁舎については平成24年2月に庁内検討委員会が設置され、検討が行われました。平成28年4月の熊本地震では、国も庁舎の耐震化に向けた市町村役場緊急保全事業を創設しました。このような中、市は、平成29年3月に「庁内検討報告書」をまとめました。そして同年6月に外部委員会である新庁舎建設検討委員会を設置し、11月に基本構想を策定しました。また平成30年2月には、基本計画案を公表し、パブリックコメントによる意見の募集を行い、同年3月に基本計画が決定しました。

特集 NEW LANDMARK

# 新庁舎 づくりを考える

市民とともに作る  
垂水市のシンボル  
市役所庁舎を考えます。

今年3月に「垂水市新庁舎整備基本計画」が決定しました。基本計画とは、設計業務に必要な情報等をまとめたもので、これから本格的に市役所新庁舎のかたちづくりが始まります。今月号では、前回2月号の「新庁舎づくりを考える」第2弾として、基本計画について市民の皆様とともに考えていきたいと思います。

## 新庁舎建設における キーパーソン

鹿児島大学大学院理工学研究科  
教授 鯉坂 徹



生年月日：昭和32年5月19日  
出身：愛知県名古屋市

新庁舎の基本計画決定に伴い行われた住民説明会では、基本計画に対し、市民の方々よりさまざまなご意見をいただきました。そこで今回は、外部委員会である新庁舎建設検討委員会の鯉坂徹教授に専門家のお話を伺いました。基本計画作成にも大きく関わっていただいた鯉坂教授の見解と住民説明会へ出たご意見等を踏まえ、基本計画をご紹介します。